

財政収支(1-4月)

(1) 1-4月の歳入は前年同期比38.6%増、税収は同46.0%増。歳出は前年同期比83.9%増。
 (2) 結果として1-4月の財政収支は3,824.96億リラの赤字(前年同期比1875.9%増)、プライマリーバランスは2,473.42億リラの赤字(同392.3%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-4月(A)	2023年1-4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	7,666.38	10,627.01	38.6%
税収	5,914.38	8,637.39	46.0%
所得税	927.47	1,648.46	77.7%
法人税	1,074.16	249.62	▲76.8%
付加価値税(国内及び輸入)	2,048.53	3,242.60	58.3%
特別消費税	958.52	1,888.82	97.1%
その他税収	905.70	1,607.89	77.5%
税外収入等	17.52	19.90	13.6%
歳出(b)	7,859.96	14,451.97	83.9%
人件費	1,754.74	3,624.16	106.5%
物品及びサービスの購入	460.99	1,018.16	120.9%
経常移転	3,189.69	6,395.02	100.5%
資本支出	360.44	817.40	126.8%
支払利子(c)	1,039.74	1,351.54	30.0%
その他歳出	1,054.36	1,245.69	18.1%
財政収支(a-b)	▲193.58	▲3,824.96	▲1875.9%
基礎的財政収支(a-(b-c))	846.15	▲2,473.42	▲392.3%

経常収支(2023年1-3月)

(1) 2023年1-3月の経常収支は、235.91億ドルの赤字(前年同期は177.65億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-3月の貿易収支(物品)は293.15億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は62.22億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

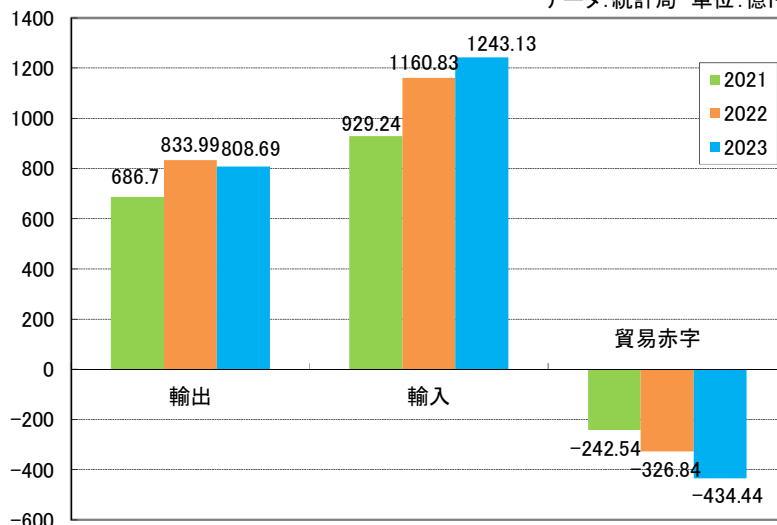
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-3月(A)	2023年1-3月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲177.65	▲235.91	▲32.8%
貿易収支(物品)	▲213.12	▲293.15	▲37.6%
サービス収支	62.65	83.81	33.8%
旅行収支	52.70	62.22	18.1%
第1次所得収支	▲23.28	▲25.67	▲10.3%
第2次所得収支	▲3.90	▲0.90	76.9%
労働者送金	0.66	0.79	19.7%
資本移転等収支	▲0.03	▲0.50	-
金融収支	▲120.26	▲244.41	▲103.2%
直接投資	▲6.53	▲8.89	▲36.1%
証券投資	48.96	3.03	▲93.8%
その他投資	▲86.03	▲95.73	▲11.3%
外貨準備	▲76.66	▲142.82	▲86.3%
誤差脱漏	57.42	▲8.00	▲113.9%

貿易収支(1-4月)

(1) 1-4月の輸出額は808.69億ドル(前年同期比3.03%減)、輸入額は1,243.13億ドル(同7.09%増)となり、この結果、貿易収支は434.44億ドルの赤字(同32.92%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-4月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.2%(前年同期は42.7%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は27.5%(前年同期は25.8%)となっている。

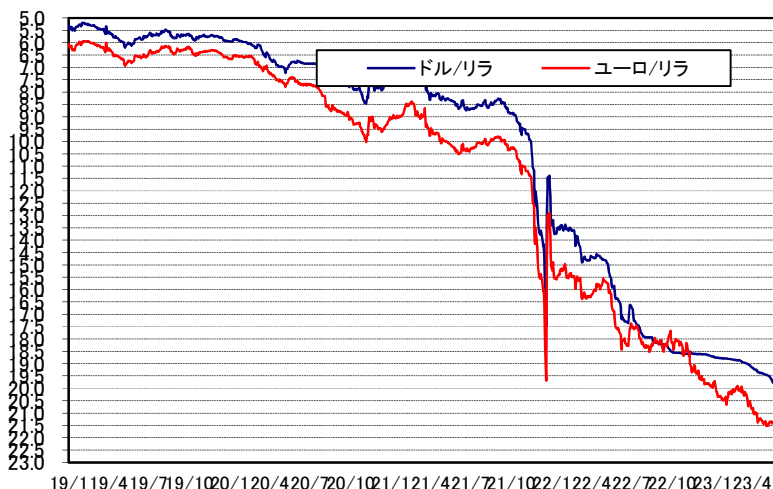
データ:統計局 単位:億ドル



為替(4月)

経常収支の悪化、さらに大統領選挙の結果を受け、リラ安が急激に進行し、対ドル史上最安値を更新。月末は1ドル=20.66リラ(前月末比6.0%安)、1ユーロ=22.05リラ(同3.1%安)となった。

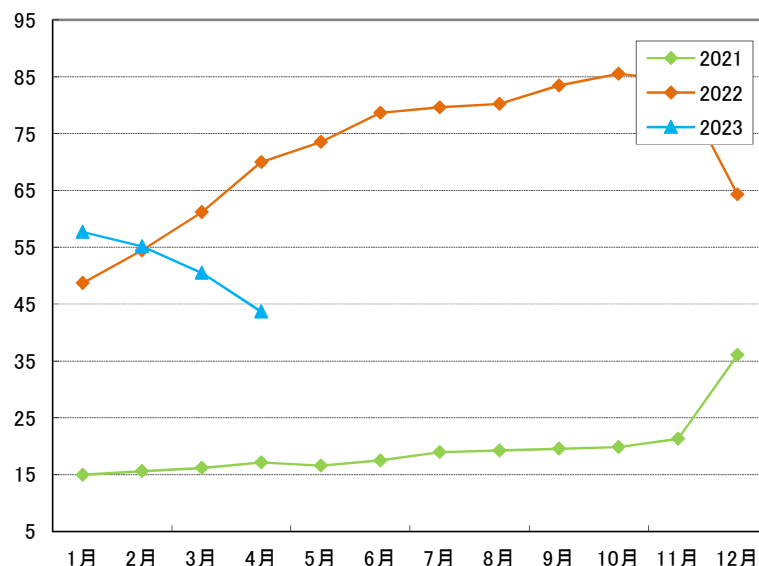
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(4月)

- (1)4月の消費者物価は前年同月比43.68%増、前月比2.39%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比66.62%で健康が、前月比5.93%で通信が最も上昇した。
- (3)2023年末のインフレ率の中銀目標(5/4時点)は前年同月比22.3%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比52.11%増、前月比0.81%増となった。

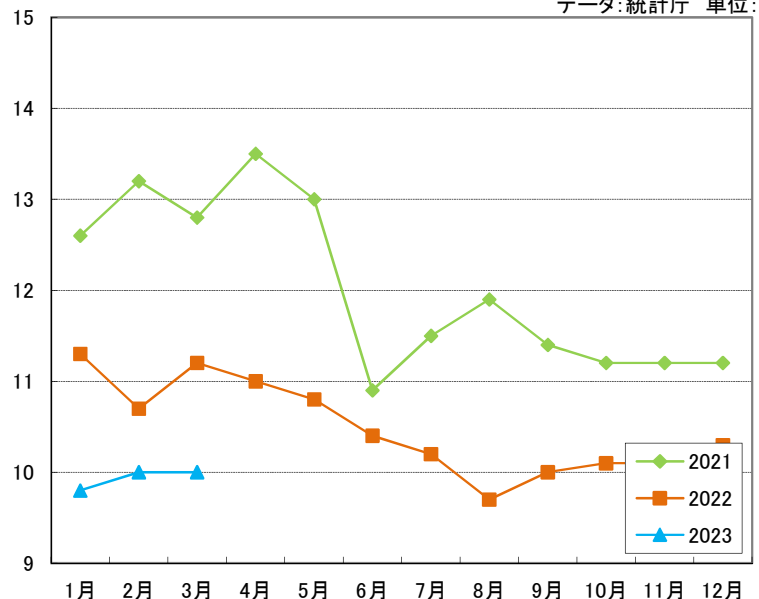
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(3月)

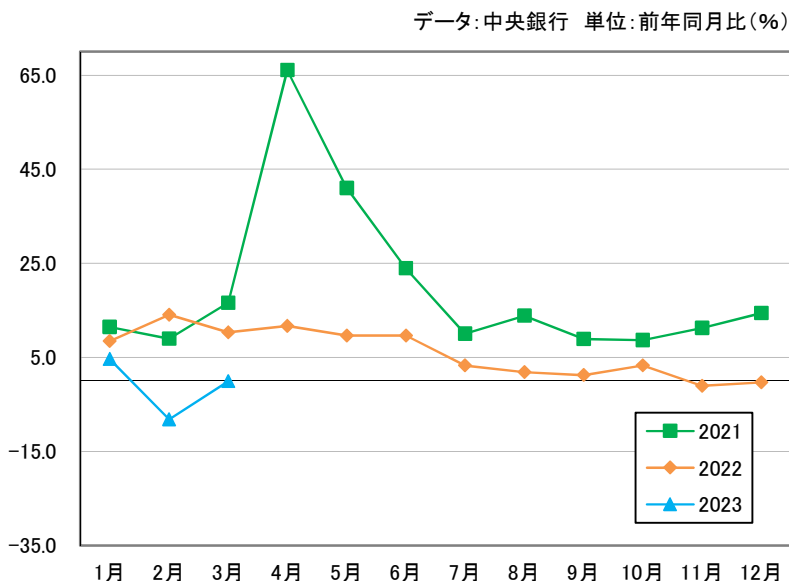
- (1)3月の失業率(季節調整後)は10.0%となり、前月と同値。
- (2)労働力人口は3,497.0万人、就労者数は3,146.2万人、失業者数は350.8万人。
- (3)男性の失業率は8.1%、女性は13.8%。若年層(15-24歳)の失業率は20.1%となっている。

データ:統計庁 単位:%



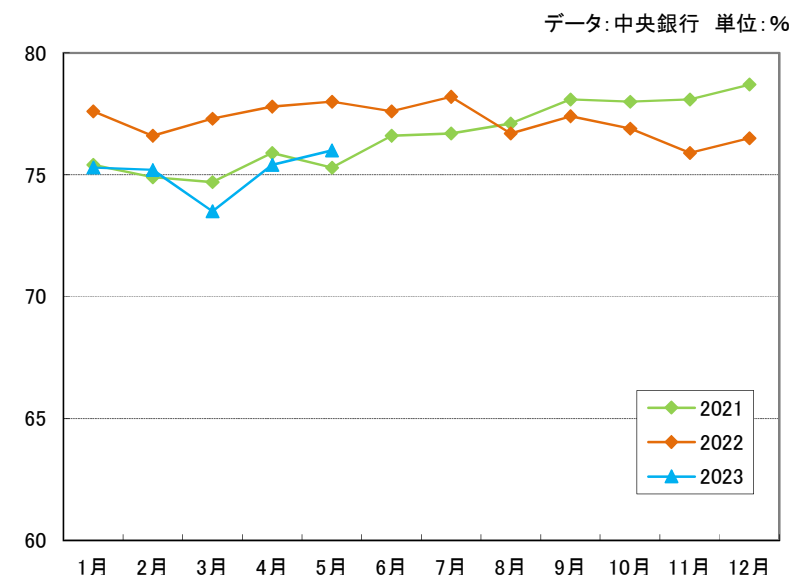
鉱工業生産(3月)

(1)3月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.1%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比9.2%増、資本財が同29.6%増、中間財が同7.7%減となった。



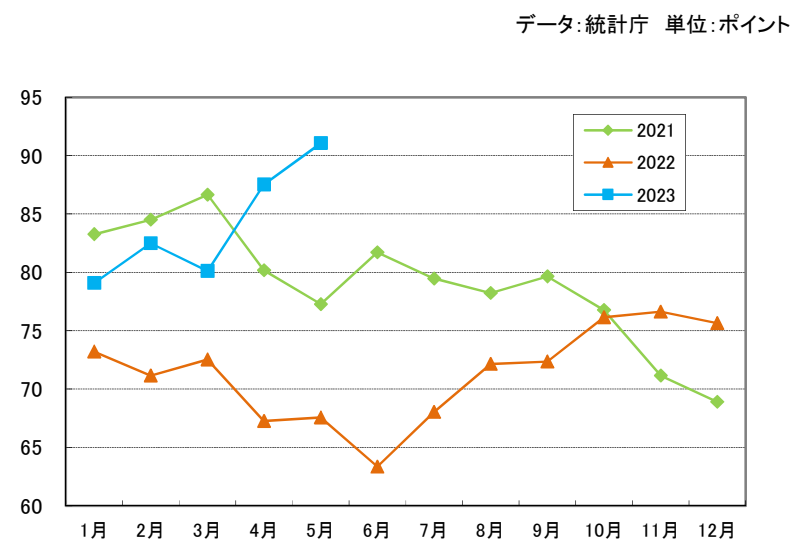
設備稼働率(5月)

(1)5月の設備稼働率は76.0%となり、前年同月から2.0ポイント減少し、前月から0.6ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、機械器具修理・設置業(82.0%)が最も稼働率が高く、印刷業及び記録媒体複製業(69.1%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(5月)

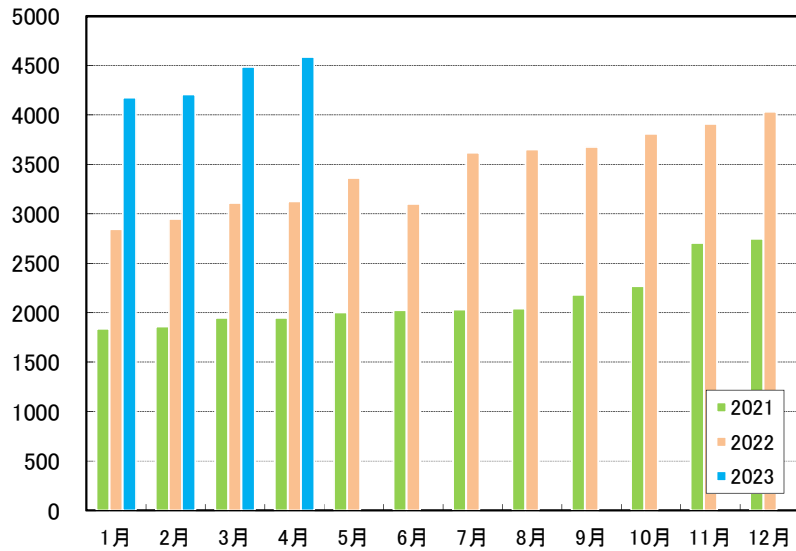
(1)5月の消費者信頼感指数(季節調整値)は91.1ポイントで、前月から3.6ポイント上昇。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇した。



中央政府債務残高(4月)

(1)4月末時点での中央政府債務残高は4兆5,881億リラとなり、前年同月比46.8%増、前月比2.3%増となった。
 (2)また、国内債務比率は50.0%、自国通貨債務比率は37.9%(2022年末は34.5%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

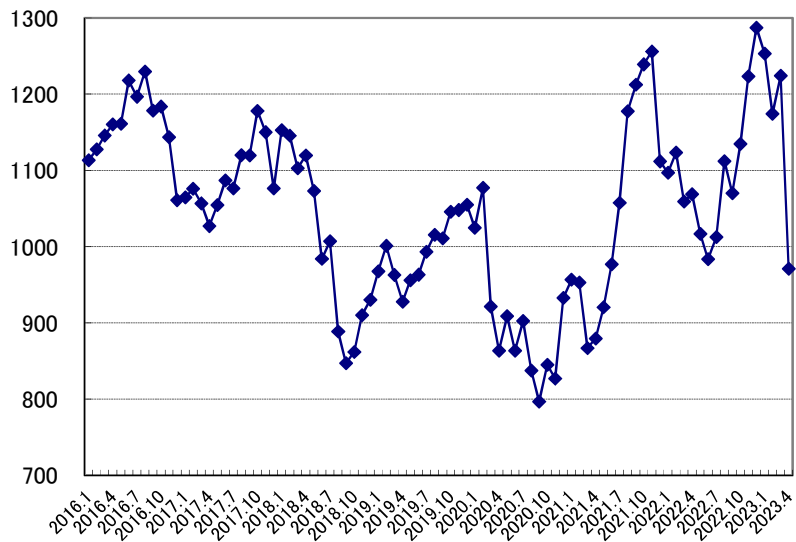
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(4月)

(1)4月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は970.80億ドルとなった。
 (2)前月から253.36億ドル減少した。

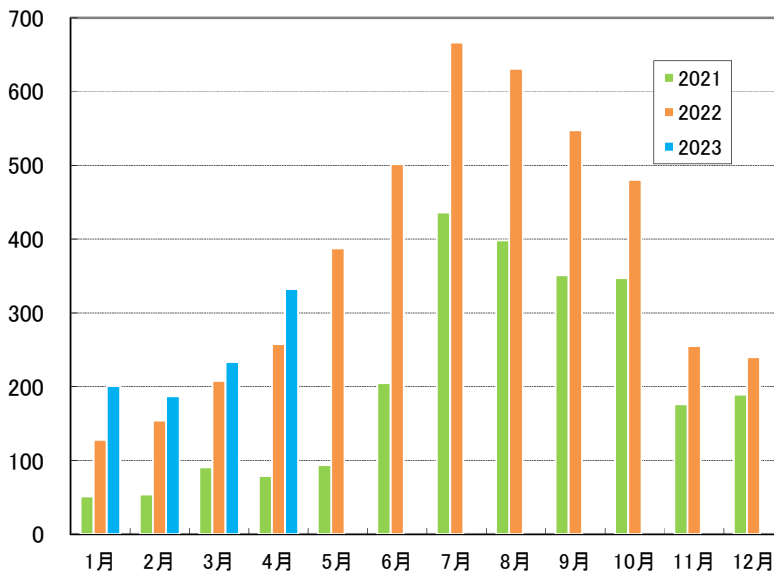
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(4月)

(1)3月の外国人訪問者数は3,321,824人で、前年同月比29.03%増。日本は4,640人であった(前年同月は1,593人)。
 (2)国別ではドイツが最も多く、461,489人で全体の13.89%を占め、以下、ロシア(380,660人)、イギリス(279,734人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

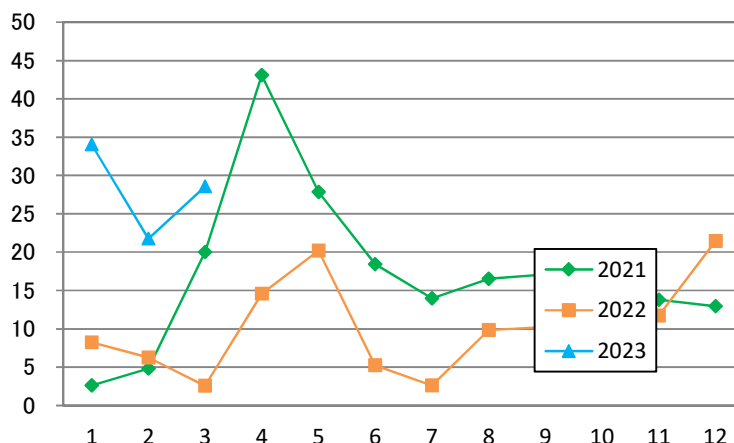


小売売上高(3月)

(1)3月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)28.6%増、前月比(季節及び日数調整後)7.3%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比17.0%増、繊維・衣料が同12.0%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同69.8%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

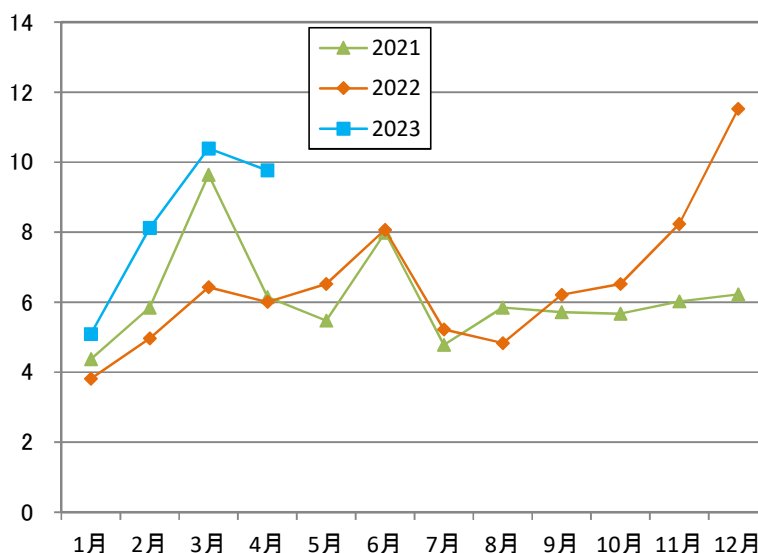


新車販売台数(4月)

(1)4月の新車販売台数は97,679台で前年同月比62.70%増。

(2)4月の内訳は乗用車が77,398台(前年同月比69.9%増)、小型商用車が20,281台(同40.1%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(4月)

(1)4月の住宅販売戸数は85,652戸で前年同月比35.6%減となった。

(2)4月は新築が26,952戸(前年同月比26.0%減)、中古が58,700戸(同39.3%減)。

(3)4月の住宅ローンでの購入は21,769戸(前年同月比32.0%減)、その他が63,883戸(同36.8%減)。

データ:統計庁 単位:万戸

